2023年度 新人看護職員 臨床実践能力 年間教育スケジュール表 (案)

糸魚川総合病院 看護部新人教育委員会

新人教育委員会教育方針:厚生連糸魚川総合病院の理念、看護部理念にそって看護の専門職として時代に即応した、安全で質の高い看護を提供できる看護職員を育成する

教育目標:1.組織における役割、心構えを理解し適切な行動がとれる 2.看護職員としての自覚を持ち、責任ある行動がとれる 3.専門職業人として主体的に学習し自己を向上させることができる

年間目標:1.基礎看護技術が安全・確実に実践できる 2.指導をうけながら看護計画に沿った看護実践ができる 3.セクションの特性と業務内容を理解できる

4.受け持ち看護師としての役割を理解できる 5.職員としての自覚を持ち、責任のある行動がとれる 6.看護に必要な知識について、主体的に学習できる

1	4月前半	4月後半	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	4月刊十 I 期前半: 職場への適応・集合教育	4月15年 I 期後半:基礎看護技術の習得・日常業務の習		動業務の習得	/ //	0Д	予定入院の取り扱い		,			<u> </u>	<u> В В В В В В В В В В В В В В В В В В В</u>	
F	- WIN 1 - 198-90 - VALUE AL 174 F	1.70以1.在北台区区内40日10日10末分40日	2701.0	30 × 10 × 10			アルへ所の取り扱い		Ⅲ期:受け持ち看護師として看護過程の展開 Ⅳ期:自己を振り返り課題を明確にする				-	
										11 /01: [[[[] 2] 2] 2]	DAME OF THE PERSON	V期:急変時の自己の	の対応を知る	
	○職場の環境に慣れる	〇日勤の業務の流れが理解できる	○優先順位を考えて一日のスケ	〇優先順位を考えて					1	I	〇看護とは何かを考え			
l-	〇部署の構造が理解できる	〇報告・連絡・相談の考え方が理解できる	ジュールを立案できる	行動できる	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	ひ省級とは何かとう	CHARCE		
l-			○報告・連絡・相談ができる	1130 € 5	⇒					⇒	〇1年間の自己を振り	り返り2年目に向けての)課題を明確にす	
f	〇社会人としての基本的マナーが理解できる	〇看護技術が指導のもと実践できる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	〇報言・建裕・伯鋏かできる			⇒	⇒	⇒	⇒				т .	
ア	〇必要時自ら助言を受けることができる	OME機器の取扱が実践できる	⇒ ○3~6人の患者を受け持つ事がで	○基礎看護技術の取	得ができる	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
ウ		○指導者とともに複数の患者を受け持つ事が できる	きる	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
۲		ces		の流れが分かる	ı		〇 入院から患者に関	わり全体像をとらえる	〇患者を受け持ち計	画が立案できる	1	⇒	⇒	
カ					○夜間のラウンドができる			ことができる		○受け持ちの看護師の役割を理解し行動できる			⇒	
4				〇夜間のスケジュー			○看護計画が立案で	きる こ	〇患者家族とコミュニ			⇒	⇒	
				〇夜間のナースコー			〇省設計画が 至来で		〇受け持ちとして看記			⇒	⇒	
				〇夜間の点滴管理が					〇退院支援ができる			〇継続看護が		
				〇枚目の無過官程が		O&*!= = U* 1 4	▲ 呼べる ○急変時医師	T (= 40 H - er + 7			1		·調整がわかる	
	THE ST AD ST TE ADAM STAN	1	ı		1	し心変に対わさんが	一叶へる ○忠亥时区間	川に牧古できる	⇒	⇒	⇒	〇返阮又族:	調整がわかる	
	□看護部概要・組織・運営					□多重課題研修						□継続看護研修		
	口当院の看護師としての心得	□夜勤見学	□外来見学(外来・透析・手術室)										
看護師として必要	□コミュニケーション											□1年のまとめ発表		
基本的姿勢と態度	口看護方式について			1		1	1							
	口勤務表について・受診の仕方			I		I	I							
	□看護倫理について											_		
環境調整	□環境整備 ベッドメイキングなど各部署で打	指導												
食事援助	□食事介助 □経管栄養法					<u> </u>						<u> </u>		
44- 30-490 DA		□導尿の手技		4 45 M chil-	羽縄ナス手禁し	±45.							T .	
排泄援助		口膀胱内留置カテーテルの挿入と管理		THANK	習得する看護技	XIIII :								
T # 4 #	□歩行介助・移動介助・移送 □体位変換・3	•		新人看護耶	戦員研修ガイドラ	インの(別表)の	到達目標						1	
活動·休息	□廃用症候群予防 □関節可動域訓練			「技術的側面	面:看護技術70耳	頁目のうち「★」の	の項目							
清潔衣生活	□部分浴・陰部ケア・おむつ交換 □清拭・洗	比髪 口腔ケア □寝衣交換等の衣生活支援、	李容	※学研ナ	ーシングサポー	トを活用する							†	
	□酸素吸入 □吸引												†	
呼吸·循環	口体温調整 ロネブライザーの実施		□褥瘡の処置 □褥瘡の予防	1	1				口挿管介助	口人工呼吸器研修				
I 創傷管理	口作温明正 ロインノイン の人間		5/9(火)									 	+	
20100 E 4王	□静脈内注射 □静脈内採血 □点滴静脈	L 为注射			□静脈注射研修フォ					□輸血療法委員会	口静脈注射研修フォ	 	+	
支	ロインスリン製剤の種類・用法の理解				ローアップ					の研修参加	ローアップ			
所 。 与薬	口輸液ポンプ・シリンジポンプ 4/25(火)				. , , , .									
d 2 m	□経口・外用・直腸内与薬 □抗菌薬・抗ウィ	I イルス薬等の用法の理解と副作用の観察								□輸血の準備・輸血				
5	口麻薬の種類・用法の理解と主作用・副作用									中と輸血後の観察				
救急救命処置			□BLS、AED	□BLS,AED									†	
	□静脈血採血と検体の取り扱い □心電図 =	I 	□ 検体の取扱い(医療安全)									 	+	
症状·生体	□採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い □		5/19(金)											
苦痛の緩和	□安楽な体位の工夫	12助守心电函00数相	-, (111)	+			1					 	+	
占無の被化		 な防護用具 □洗浄・消毒・滅菌の適切な選択		口或选品位金品人。	┃ ○研修に参加(2回/年	<u> </u>	1	1	ı	ı	ı			
感染予防				山窓米对東安貝芸()	/w/彦に参加(Z四/年	/								
⊗未 F W	□無菌操作の実施 □医療廃棄物規程に沿った適切な取り扱い □針刺し切創、粘膜暴露等による職業態染防止対策と事故後の対応													
安全確保	口誤薬防止の手順に沿った与薬 口患者誤	認防止策の実施 □転倒転落防止策 ■	□医療領	安全委員会の研修に参	加(2回/年)	1	1	T	1	ı	T	т	_	
死亡時のケア					ļ			ļ					4	
安全管理	□医療事故・インシデント発生時の対応	l .				ļ	ļ		ļ	ļ	ļ		1	
情報管理	□看護記録 □看護必要度 (□オーダリンク	プ看護支援システム)				1	ļ					<u> </u>	4	
業務管理]			<u> </u>	1	
理 薬剤等の管理	□毒薬・劇薬・麻薬の取り扱いと管理													
り 災害防災管理	口防災訓練 口消火器訓練													
物品管理														
コスト管理														
	新人看護職員評価表「看護技術」 2回/4月 プリ	リと評価	2回/5月 プリと評価	6~1	3月 2回/3ヶ月 プリと	:評価	9~1	1月 2回/3ヶ月 ブリ	と評価	12~	2月 2回/3ヶ月 ブリ	と評価		
研修の振り返り	新人看護職員評価表「看護職員として必要な基本を					1回目評価					2回目評価			
面接・面談	師長・新卒者教育委・プリセプターで面談	ANGULA DELIVER SELECT OF TOTAL		6月面談		, rest het it i littl	9月面談			12月而総	A U I IM		3日而懿	
	師長面接	入職1ヶ月		7 時 2 日			う月回談 入職6ヶ月			入職9ヶ月			入職12ヶ月	
	即攻幽垓	人戦1ヶ月		人職づケ月			人職のケ月			人職9年月			人職12ヶ月	
委員・プリの研修	新看護職員研修ガイドラ			ー・デブリーファーの役										